

「親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讚法要記念

第24回全国仏教壮年大会」に参加して

長崎教区佛教壯年会連盟理事長

仏教壯年会連盟長崎教区評議員

園田 祥隆

「親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要記念第 24 回全国仏教壮年大会」が、スローガン『ご縁を慶び、お念佛とともに』、テーマ『聖人のみ教えつないでお念佛申す朋友の輪』を掲げ、4 月 15 日(土)は本願寺御影堂、16 日(日)はホテルグランヴィア京都にて開催された。

全国大会の開催は、新型コロナウイルスの影響もあり 6 年ぶり。15 日の「法要」には全国から 750 人が参拝し、同日の「懇親会」に 531 人、そして 16 日の「大会行事」には 633 人の朋友が参加された。

さて、長崎教区佛教壮年会連盟では、法要前日の 14 日(金)出発、帰りは 16 日(日)、2 泊 3 日の参拝ツアーレ募ったところ、男性 24 名、女性 3 名、合計 27 名(教務所長、事務担当者含む)の参加があったことは嬉しい限りである。

初日、長崎空港から伊丹空港へ。嵐山にて昼食。親鸞聖人のご往生の地「角坊」に参拝し、京都国立博物館にて『親鸞展』を鑑賞。見応えのある展示であったため、1時間ほどの滞在時間では慌ただしかった。そして宿に入り、徒歩にて夕食会場へ。アルコールも入り、大いに盛り上がる。



2日目、大会スタッフの私は準備のため単独で本山に向かい、昼食後みんなと合流。パンフレット、記念品等を渡し、役目は終了。本願寺御影堂で法要参拝。法要後、ただちに準備のため懇親会会場のホテルグランヴィア京都へ向かった。

懇親会はアルコールも入り、大盛況。しかし、私は終了後、翌日の準備があるためアルコールは控えめに…。「教区仏壮大連盟旗」の組み立てが待っていた。



3日目、スタッフは6時50分会場集合のため、再び単独でホテルグランヴィア京都へ。大会のリハーサル。「長崎教区仏壯連盟旗」を掲げての入場だ。

旗の角度は45度くらい。これが重いの何の。日頃箸より重たいものは持ったことがない私には耐えられない。

リハーサルは無事終了。本番もそつなくこなすことができたが、数日後、背筋が妙に痛くなったのはこのせいいか…。



大会の最後に参加者一同で「仏教壯年としての自覚を新たにし、お念佛を喜び、次世代へ繋ぎ、朋友の輪を一層拡げる活動を推進し、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現をめざす決意をここに表明します」との決意表明を行い、大会は無事終了。



私は後片付けを済まし、みんなの待つ昼食会場へ。ビールの一杯がうまい。それから得度習礼・教師教修研修道場で知られる西山別院に参拝し、伊丹空港より帰途につく。長崎空港には19時前に到着。ここでツアーは解散。各々家路へ。

後日、教区副理事長の平野さんから、「ツアーに参加した方はみんな良かったと言っている」「今度は行けなかった人も誘いたい」との声もあると聞き、この大会は終わりではなく、始まりであると確信した。これを機縁として朋友の輪が拡がり、念佛の輪が拡がることを願う次第である。

次回の全国大会は2026(令和8)年に岐阜教区で開催予定。南無阿弥陀仏……。

※この投稿は、長崎教区教区報2023年秋号に掲載したものを一部変更したものです。